

新クリーンセンターだより

その15

ついで主に確認しています。

①当初の計画どおりのごみ焼却性能や発電能力が確保できているか。

②ごみ焼却時に臭気やオイルなどの漏れはないか。

③ごみ焼却による各設備への影響はないか。

例えば、この試運転期間に課題が見つかった場合、速やかに対応することで、安心して秋の本格稼働を迎えることができます。

主な試運転の内容は、次のとおりです。

①乾燥焚き

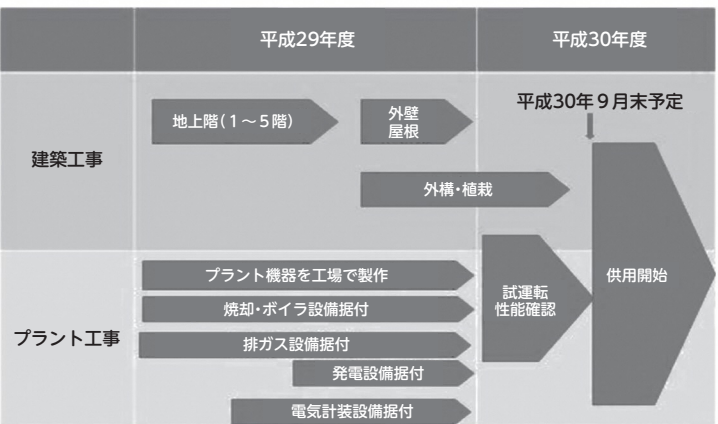
ごみを投入する前の焼却炉を燃焼することで、レンガなどに含まれる油分を取り除くとともに、耐火性能の確認を行います。

②焼却負荷運転

新クリーンセンターで受入れたごみを実際に焼却します。焼却処理の量と処理に係る時間を段階的に増やしていくことで、焼却状況（炉内温度、ばいじん濃度など）を確認しながら、設備の運動運転の調整などを進めます。

また、試運転期間は、これまで打越台環境センターを運転管理してきた職員が新たな施設に慣れる習熟期間としても活用されます。

平成28年5月に工事を着手した新クリーンセンター（環境の森センター・きづがわ）は、今年の3月末の建屋完成後、4月の火入れ式を経て、5月7日(月)からごみを投入して焼却を行う試運転性能確認を行っています。今月は、現在、新クリーンセンターで行われている試運転について、お伝えします。



試運転では、これまでに設置してきた各プラント機器に関し、次のポイントに